

令和6年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	岩田総合球技場(4施設)、万場調整池庭球場
所在地	豊橋市岩田町1番地の2(岩田総合球技場ほか)
指定管理者	豊橋スポーツパートナーズ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
担当課	文化・スポーツ部 スポーツ課(0532-51-2485)
令和5年度指定管理料(決算)	61,761千円
令和6年度指定管理料(決算見込)	61,762千円

項 目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書等に基づき施設の点検や修繕等が実施されており、適切な維持管理業務が行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	事業計画書等に基づき、世代に応じた・管理施設の特長を生かしたスポーツ教室や有名スポーツ選手による技術指導講習会等（星空ヨガ、トップアスリート交流事業等）の自主事業が積極的に開催されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書等のとおり人員が配置されており、労働環境は関係法令等が遵守されたものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	事業計画書に従い、実務研修等の職員研修が実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書の個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急連絡網、危機管理マニュアル等が作成されており、施設において消防訓練が実施されるなど、十分な取組みがなされている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	公平性を確保して行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和5・6年度を比較)		R4年度	R5年度	R6年度	比較(R6-R5)
			開館日数	309日	309日	309日	0日
			利用者数				
			a. 市民球場	33,308人	54,431人	56,382人	1,951人
			b. 市民球技場	19,464人	25,604人	23,159人	▲ 2,445人
			c. 市民庭球場	44,917人	42,719人	44,005人	1,286人
			d. 市民クラブハウス	3,896人	3,851人	4,115人	264人
			e. 万場調整池庭球場	14,809人	14,981人	13,661人	▲ 1,320人
	【要因分析】 市民球場については、プロスポーツ大会の開催や各種自主事業を実施したことにより利用者が増加した。 市民球技場及び万場調整池庭球場においては、利用団体の構成人数減により減少した。						
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	◆参加申込において、ノンストップサービス（長期継続(複数月)の申請）を電子申請でもできるようにした ◆広報・情報提供（地元FM局によるマンスリー番組を開設、SNSでの発信活動） ◆開館時間の拡大（市民庭球場、万場調整池庭球場の早朝枠(午前7時から午前9時)を設けた)					
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	利用者アンケート 回答数：204件 ＜施設利用申請方法の利便性＞※()内はR5実績 満足：53% (43%)、どちらとも言えない：42% (40%)、不満：5% (17%) ＜施設利用の利便性＞ 満足：69% (68%)、どちらとも言えない：24% (21%)、不満：7% (11%) ＜職員の対応について＞ 満足：72% (75%)、どちらとも言えない：27% (23%)、不満：1% (2%)					
意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応			
		駐車場の混雑の緩和		駐車場満車予測情報の掲載、公共交通機関の利用の促進により混雑の緩和に努めた			
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	毎月、当協会職員によるスタッフ会議を開催し、課題の洗い出し・問題の解決方法など情報の共有化により、職員のスキルを向上させることで、苦情・トラブルのゼロ化を目指し、その発生を抑制した。 利用者の苦情等には、丁寧に対応している。					

管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	概ね収支計画書どおりの収支状況となっており、コスト削減にも努めている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	61,762千円	指定管理事業費	85,093千円
			利用料金収入	15,259千円		
			自主事業収入	8,072千円		
			その他収入			
		収支差額		0千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	令和4年度に新規自主事業として始めた、乳幼児期対象の「芝生で運動あそび」や働く世代対象の「星空ヨガ」、トップアスリート交流事業を始めとした計17種類62回の自主事業を実施し、スポーツ機会の創出に努めた。
-----------------	---

当年度の対応方針	自主事業イベント及び施設の魅力等の更なる情報発信を行うことにより、自主事業参加者数の増加、利用者数増加に努めていただきたい。また、利用申請手続きの利便性向上、施設の整備、職員の接遇向上により、利用満足度調査において「満足」と回答しなかった層を「満足」へと繋げられるよう、利用者満足度の向上を期待する。
----------	--

指定管理者の自己評価	指定管理業務期間の折り返し年度となった令和6年度は、管理運営の基本理念であるスポーツを「する」・「みる」・「ささえる」をスタッフ全員の合言葉に、これまで以上に充実した事業を展開することができました。 具体的には、「する」については、ライフステージに応じた、そして、管理施設の特長を生かしたスポーツ教室等を開催することができました。 「みる」については、「プロ野球・JDリーグ・なでしこリーグ」の公式戦開催運営をサポートし、数多くの観覧者の方に満足して頂くことができました。 「ささえる」については、トヨタ自動車硬式野球部・デンソーソフトボール部・名古屋オーシャンズ等有名スポーツ選手による技術指導講習会等を開催し、参加者のレベルアップに寄与することができました。 また、これに加え「スポーツボランティア講習会」・「地域スポーツを支える人材育成講習会」等を開催しました。 一方で施設の老朽化が進んでいる中で、利用の支障とならないよう適切な施設管理・施設補修に努めることで利用者の安心・安全を維持することができました。 これらの結果、14万人以上の利用者を確保することができましたが、次年度は新たな事業展開を含め事業の拡大を図ると共に、利用者の満足度向上を念頭に適切な管理を遂行してまいります。
------------	---

総合評価	豊橋市を拠点とする公益財団法人、民間企業、特定非営利活動法人の3社連携により、それぞれの強みを生かした運営が行われた。自主事業においては、トップアスリート交流事業の回数を増やしたほか、令和5年度に新設した「ズンバ」の回数を増やすなどスポーツ実施率の低い働く世代を対象としたスポーツ機会の創出に努めた。 また、ホームページやSNSによる情報発信、地元FM局によるマンスリー番組の開設など、積極的な情報発信に努めた。 引き続き、施設の特長を生かした自主事業の展開や施設満足度の向上、スポーツ実施率の向上を図ることに期待したい。
------	---

次年度の対応方針	引き続き、施設の管理運営については、施設や設備の不具合等がある際は本市と共有を図りながら速やかに対応するとともに、市民の意見やニーズを捉えながら、安全で快適な施設の提供に努めていただきたい。また、自主事業イベント及び施設の魅力等の更なる情報発信を行うことにより、自主事業参加者数や施設の利用者数増加に努めていただきたい。更に、利用申請手続きの利便性向上、施設の整備、職員の接遇向上により、利用満足度調査において「満足」以外に回答した層を「満足」へと繋げ、利用者満足度の向上を期待する。
----------	--